



まるがめ

週報

会員数 59名
欠席者

出席者43名・欠席者12名・免除会員9名
有家・麻田・和泉享・加内・松山・増田・中野昌・曾川・山本由
大山・齋賀・陶國-会員

前々回出席率 49%(10/23)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲
幹 事 細谷 誠
会報委員長 大西 信亮

お知らせ

- 11月のプログラム
6 (No.1)-市民講座
10 (No.2)-休会
17 (No.3)-クラブフォーラム
24 (No.4)会員卓話

- ニコニコBOX;
祝誕生月
福田君
祝結婚月
横田君
よいことがありました
秋山憲夫君 神余君
市民講座を終えて
大西信亮君
出席免除会員になりました
夏見君

<ニコニコ会計累積/¥189,000>

- がんばるBOX;
団体16チーム中15位でした
次回頑張ります
第14回香川県RC親睦ゴルフ
大会参加者一同
本年度もR財団にお心まかせの
寄付をお願いします
吉田君
市民講座欠席しすみません
学会出張でした
塩田君
結婚月ありがとうございます
高岡君

<がんばる会計累積/¥99,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザホテル内

■会長挨拶 自己紹介



■幹事報告

①夏見会員から出席免除申請があり、要件を満たしているのをこれを受理し本日より適用いたします。

■理事会報告

①12月、1月のプログラムについて

12月22日の忘年家族会は、コロナが再拡大しているので家族会は中止し、会員だけの夜間例会とする。なお、今後国や県の行動制限の発令などがなされた場合は、会の開催も含め再検討する。

②60周年記念事業の市民講座、講演会、写真展の日程についての報告。

③野球同好会のガバナー杯参加に対するクラブ参加費の補助の承認。

④例会場の賃借料、事務費等の見直しについて
賃借料を改定した上で、クラブ会費の改定や事業の見直しを検討する。
まずシミュレーションなど資料の作成を進める。

■例会事業;クラブフォーラム;ロータリー財団委員会 吉田委員長

ロータリー財団委員会は寄付金を募る委員会です。1000ドル(11月ロータリーレートで148,000円)でポールハリスフェローPHFの称号が授けられます。一万円からの少額寄付で積み立ても可能です。寄付金には税制優遇制度が認めていますので、ぜひ協力をお願いします。寄付金は我々の奉仕活動資金となり、ポリオ撲滅活動やウクライナの人道支援などに使われます。



今回お話しさせていただくのは現在も国際ロータリー、公益法人ロータリー日本財団の理事長として100歳を超えてなお活躍されている千玄室大宗匠(だいにしゅうじょう)さんです。千玄室さんは裏千家代15代元家元で禅宗、特に臨済宗・大徳寺派・大徳寺との関わりがあります。二年前に私が愛読している月刊誌に特集が組まれておりましたので一部ご紹介させていただきます。

(裏へ続く)

2022.11.17

Vol.60

No18

(2878)

釈尊は三法印という教えを残されています。一つ目は「諸行無常」この世は常に移り変わり、思うようにはならないという教えです。二つ目は「涅槃寂靜」人間が生まれて死んでいくのは当然のことなので恐れてはいけません。いかに静かな安らぎを持って生きていくべきかを教えた言葉です。三つ目は「諸法無我」。諸々の法には我というものがなく、すべての存在は繋がっています。

いつも真実を表す大きな心を育てなさいと言う教えです。

釈尊は、これら三法印にもう一つ「一切皆苦」という教えをつけ加えられました。人間は生まれた時から死ぬまで全てが苦しみだということです。大切なのは苦しみの多い人生であったとしても、思いやりの気持ちを失わないで、他の人に対して手を差し伸べていくことだではないかと思うのです。自分の手を使って、他人のために少しでも何かをして差し上げる。その喜びが自分に返ってくる。その時に人生の本当の幸せを感じられるのではないのでしょうか。

禅には「看脚下」という言葉があります。足元を見よと言う教えです。まずは身近な家族と言う足元を見て、自分を生かしてくれている様々な恵みに目を向け、自分は本当にこのままでいいのかと我が身を省みる。周囲の環境に振り回されていた自分の本来のあるべき姿が、そうやって見えてくるのです。

茶道では茶の入った茶碗を回すと言う教えがあります。これは回すではありません。正面を避けることを教えているんです。謙虚になれと。半歩下がって自分を省みることで自分の生活が随分と変わってくるはずですよ。

生きていく上で迷わないためには一人ひとりが自覚を持つことが大事だと思います。自分は何のために生きているのか、どう生きなくてはいけないかという自覚です。と同時に相手に対してもっと思いやりの気持ちで接しなくてはなりません。広い心を持ってこそ、初めて自分というもへの自覚が深まると考えます。

話が長くなってしまいましたが、お時間ですのでここまでとさせていただきます。よろしければ、皆様周りの方々を助ける寄付での奉仕をよろしくお願ひします。

■会員自己紹介

小山文雄(こやまふみお)会員

会社名:香川県不動産トレードセンター株式会社

事業案内:不動産売買、宅地分譲

自己紹介:丸亀生まれの丸亀育ちです。1963年県立多度津工業高校を卒業して、四国化成工業へ入社。製造部門、工務部門を経て経理部門の所管であったシステム部門へ1972年に配属となりました。当時は紙テープ、紙カードを通してデータの交換、プログラムの開発を行っていました。現在では想像も出来ないほどの変化です。それからコンピュータとの関わりが35年続きました。後半の19年間はソフトウェア開発、システム運営、OA機器販売を行なう子会社「(株)システム工房」の設立と会社の運営に奔走しました。2007年に44年間のサラリーマン生活に終止符を打ち母親が家業としていた小山不動産を、香川県不動産トレードセンター株式会社として事業継承し現在息子と2人で運営しています。

